

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	知的所有権		
英文授業科目名	Intellect Property		
開講年度	2006年度	開講年次	4年次
開講学期	7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	井桁 貞一		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
info@ip.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>本科目では、知的財産権制度に関し、専門的かつ発展的な内容を取り上げる。</p> <p>今後ますます知的財産権の重要性が高まってきており、またデジタル化、ネットワーク化の進展により、コンピュータプログラムやデジタルコンテンツの保護と利用が重要になってきており、特許や著作権など、複数の知的財産権に関する知識が欠かせない。</p> <p>そこで本科目では、知的財産権の保護と活用に関し、専門的知識を習得するとともに、ビジネスの現場において生じ得る諸問題に対処する際の考え方、方法などを習得することを目的とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
知的財産権概論、法学（特に民法）、経済学、政治学

【教科書等】
<p>特に教科書は指定しない。</p> <p><参考書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉藤幸朔著・熊谷健一補訂「特許法概説」、有斐閣 ・特許庁編「工業所有権逐条解説」、発明協会 ・特許庁「産業財産権標準テキスト 特許編」、発明協会 ・特許庁「産業財産権標準テキスト 商標編」、発明協会

電気通信大学 平成18年度シラバス

- ・山口大学知的財産部「大学と研究機関のための知的財産教本」、EMEパブリッシング
- ・渡部俊也著「理工系のための特許・技術移転入門」岩波書店

【授業内容とその進め方】

ビジネスの現場で直面し得る知的財産に関する諸問題について、より専門的かつ実践的な検討を行う。具体的には発明やデジタルコンテンツ等の保護と利用に関し、知的財産権に関する専門的知識の習得とともに、権利の取得方法や活用戦略などケーススタディや興味深い内容の判例研究を行う。履修者としては、知的財産関連の職種を志望する学生を想定している。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席及び学期末の筆記試験の結果により評価する。
評価にあたっては、授業内容についての基本的な理解がなされているか、及び論理的思考がなされているかに基づいて判断する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

知的財産に関する基本的な理解は社会人として常識となりつつあるが、さらに専門的な知識を有する人材が今社会で求められている。この機会に知的財産についての専門的知識、及びそれが実際にどのように使われるかなど学んでほしい。

【その他】